

今年度も残りわずかとなりました。進級、進学と忙しくなる時期で子ども達もドキドキやワクワクがいっぱいだと思います。1年の疲れが出て体調を崩しやすい時期でもありますので、気をつけてお過ごし下さい！引き続き感染症対策をとりながら療育活動を行って参りますので、次年度もよろしくお願い致します！

**未就園グループのお知らせ**

3月のおかしの日は

**3月8日(月)・3月11日(木)**

となります。よろしくお願い致します！！

**チャイルドコラム**

**令和3年4月号の予定**

〈子どもの発達について〉 担当 心理士

**【年度末のご挨拶】**

今年度もありがとうございました。この1年はいつもと違う過ごし方、生活環境で大変だったと思います。もなみでも子ども達や保護者の皆様には感染症対策にご協力して頂き誠にありがとうございます。対策を実施しながら、元気にもなみに来てくれる子ども達の姿、成長を身近に感じることができとても嬉しく思います。

来年度も保護者の皆様と一緒に、またひとつ成長する子ども達の様子を見守って行ければと思います。よろしくお願い致します！

3月31日(水)～4月2日(金)は次年度準備のため療育をお休みさせていただきます。

令和3年度の開始日は**4月5日(月)**を予定しています。よろしくお願い致します！！

**〈ご協力ありがとうございました!!〉**

アンケートへの回答にご協力頂きありがとうございました。結果は集計次第、皆様にご提示します。また、懇談会への参加、ありがとうございました！



げつ 月	か 火	すい 水	もく 木	きん 金
1 未就園 低学年月	2 幼児集団 低学年火	3 分校 幼児集団	4 未就園	5 高学年A
8 未就園 <b>〈おかし〉</b> 低学年月	9 幼児集団 低学年火	10 分校 幼児集団	11 未就園 <b>〈おかし〉</b>	12 高学年B
15 未就園 低学年月	16 幼児集団 低学年火	17 分校 幼児集団	18 未就園	19 高学年A
22 未就園 低学年月	23 幼児集団 低学年火	24 分校 幼児集団	25 未就園	26 高学年B
29 未就園	30 幼児集団	<b>31</b> お休み	4月1日 お休み	4月2日 お休み

○児童発達支援

- ★未就園グループ 月・木 9:30～
- ★幼児集団火グループ 火 14:15～
- ★幼児集団水グループ 水 15:30～
- ★個別 月・木・金 午後など

○放課後等デイサービス

- \*低学年月グループ 月 15:45～
- \*低学年火グループ 火 15:45～
- \*分校グループ 水 13:30～
- \*高学年グループ 金 16:00～(A・B各グループ月1～2回)

\*29日(月)と30日(火)の低学年グループはお休みです。

今月号は子どもの集団生活、遊びについてのお話です。「どんなことが大切な」、「どんなことをしたらいいのかな」などお知らせできればと思います。

集団活動の意義は、「お互いの刺激を受けながら、家庭だけでは気づかなかったことに気づく」、「少人数ではできないことを一緒に楽しんだり支え合いながら取り組む」ことです。なぜ、その集団活動が大切で必要なのでしょう？今回は「幼児期」と「学齢期」に分けてお話しします。

## 幼児期 (1歳～就学前)

幼児期はひととの関わり、特に同年代の友達との関わりにおいて大きな成長を見せる時期です。他児への関心を持ち始める時期から、協同での遊びを経て、共通の目的意識を持った協同の関係が成立するようになります。

幼児期は沢山のことを経験して成長していく大切な時期です。その経験が、学齢期または高校、社会人と周りとの協力しなければならない場面で生きていきます。幼稚園、保育園、学校といった集団の場合は、そうした時期の子どもに同年齢・異年齢との集団の中で幼児期、学齢期にふさわしい経験を通しての発達を保證することを目的としています。私たち大人も、今まで色々な集団生活を経験して今があるため、集団生活というのは人生において必要不可欠なものになってきます。

## 学齢期 (6歳～15歳)

学齢期は、幼児期に培った経験を実際に学校やクラスという集団生活で発揮するという経験を積んでいく時期です。



## どんなことが大切？！

実際に、基礎を作る幼児期にどんな経験をし、何が大切なのか。

それは5つあり、よく保育の現場では「5領域」と呼ばれています。

「**健康**」…健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力

「**環境**」…周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力

「**言葉**」…経験したことや考えたことなど、自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力

「**表現**」…感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする

「**人間関係**」…他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力

私たちはこれらのことを無意識で経験してその経験を積み重ねています。「ご飯を食べる」という毎日行うこの行動にも5領域は必ず関わっています。幼児期だけでなく、小学校、中学校、高校または大人になってからも5領域は自然と関わっているため、無意識で経験している日々、1日1日が大切です。大切な毎日起こるちょっとしたできごとを大切に、子ども達を褒めたり、考えたり、一緒になって楽しむことが子ども達への成長に繋がると思います。

**おうちでできる簡単遊び**～準備いらずな簡単遊びをご紹介します！（もなみの療育でもよく行っています！）

＊低年齢向け

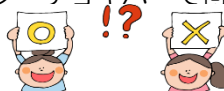
### ☆ふれあいあそび、手遊び☆

歌や音楽に合わせて身体を動かす楽しさを一緒に経験できます！ふれあい遊びはお子さんを膝に乗せて行うとより楽しい雰囲気などがからだから伝わりやすいです！手遊びも指の体操になります。幼児さんはスピードを変えて楽しむのもありかも…！？（曲や歌ははあんだがたどこさやグーチョコキパーで何作ろうなどメジャーな物でOK!）

＊幼児～学齢向け

### ☆クイズ(スリーヒントクイズ、影絵クイズ)、しりとり☆

療育の中でもよく取り入れる「クイズ」。物の特徴を言い、子ども達にあててもらおうという単純なルールですが、やりとりが自然とうまれます。「くーいすくいす(なーんのくいす!?)」とつかみを入れてあげると子どものワクワク度も高まります！しりとりもなぜか簡単なものにとっても盛り上がります！子どもの発想力にびっくりすることも！！「たべもの」や「どうぶつ」など縛りをつけても面白いです！



もなみ通信 12月号の「おうちでやってみよう?! からだあそび!」にもあった、小麦粉粘土など感触を楽しむ遊びは、幼児期に経験すると発想の広がりにつながります。その分、材料などの準備は必要ですが、ツルツルやねばねば、さらさらなどの感触は普段の日常生活で感じる機会が少ないものです。1月号の「ことばの基礎」でもあった通り、感触を経験することでことばを理解し、獲得につながります！！